

第4回九女わくわくパークを開催しました。

本学では、講義、実技、実践を通して学びを深め、学修内容を実践的に活かすことができる強くてしなやかな女性の育成に力を入れています。その一環として、人間生活学科の2年生を対象に開講している「地域生活学演習Ⅰ」、人間生活学科の3年生を対象に開講している「地域生活学演習Ⅱ」では地域のイベントに係ること、課題解決に向けたオフキャンパス活動を選択し、一連の作業からグループ活動の手法や課題解決に向けた発表討論方法の上達を目的に地域活動を行っています。

また、人間発達学科人間発達学専攻3年生の保育学・教育学・心理学等の領域における卒業研究のための基礎的な知識や方法を学び、それぞれの興味や関心のあるテーマを探索していくことを目指した「卒業研究演習Ⅱ」と合同で学科を超えた授業を行い、2年生17名、3年生14名が協力し、本学と包括的連携協定を締結している折尾の異業種交流団体「折尾二三会」にはイベント当日に活動の様子を見学していただきました。

地元就職率の向上を課題としている折尾二三会とはこれまで、本イベント「わくわくパーク」および折尾二三会主催の小学生以下対象職業体験イベント「おりちよこランド」を通して折尾地区の企業に対する理解を深める取組を行ってきました。

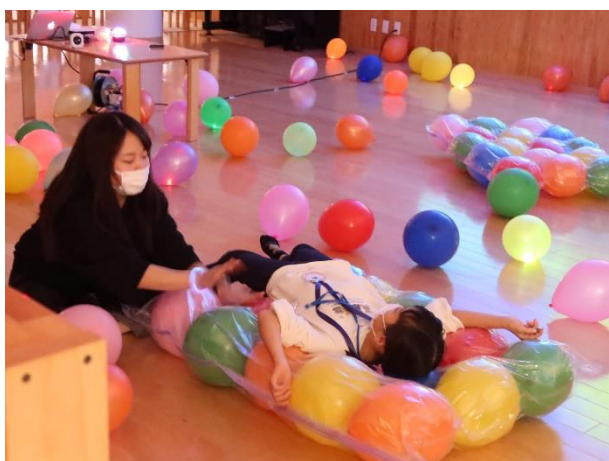
今年度は、「おりちよこランド」で企業と学生が関わり地元企業に対する理解を深め、地元での就職を促し、当日は子ども健康学科の学生8名もボランティアとして参加しました。

「わくわくパーク」では、地域の子どもたちに学びと遊びの場を提供することを目的に自然をテーマとしたイベントを企画しました。学生たちは打合せを重ね、イベントテーマや各ブースの内容を決定していました。



11月26日(日)、近隣の小学生を対象に「あそぶ・まなぶ・つくる！しぜん王国 九女わくわくパーク」を開催しました。





当日は約70名の子どもたちとその保護者が参加し、ゲームを楽しむ姿や、集中して制作をする姿が見られました。

イベント後の反省会では、自分たちのイベント運営について良かった点や改善点をそれぞれ発表し、今回学んだことを今後の経験として活かしたいという声が多く聞かれました。学生は本イベントの企画・運営を通して、学んだ知識を社会に還元する力や他者と協働する力を養うことができました。